

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 株式会社タカトリ

上場取引所 東

コード番号 6338

URL <http://www.takatori-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 増田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営管理部長

(氏名) 岡島 史幸

TEL 0744-24-8580

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	3,501	△16.9	△363	—	△336	—	△352	—
2018年9月期第3四半期	4,212	△6.8	20	—	59	—	42	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △370百万円 (—%) 2018年9月期第3四半期 36百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	△64.51	—
2018年9月期第3四半期	7.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	8,415	4,890	58.1
2018年9月期	8,685	5,326	61.3

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 4,890百万円 2018年9月期 5,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	0.5	172	△58.6	221	△53.0	170	△56.8	31.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	5,491,490株	2018年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	31,092株	2018年9月期	31,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	5,460,398株	2018年9月期3Q	5,460,398株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、減税政策等の効果が剥落する中、米中貿易摩擦による制裁関税対象品目の拡大や自動車への追加課税に踏み切った場合、景気が大きく下振れする可能性があります。欧州では、外需の減速や、製造業における在庫調整が景気の重石となっており、また英国のEU離脱問題に対する先行き不透明感が残存した状況となっており低水準で推移しております。中国では、経済政策による下支えはあるものの米中貿易摩擦やデレバレッジ政策のマイナス影響が想定以上に大きいため、景気回復は遅れております。

一方、国内経済においては、外需の下げ止まりと内需の持ち直しを背景に、景気は再び回復軌道に復帰する見込みですが、米中貿易摩擦の拡大や米国での自動車の数量規制、また通貨安に対する関税の引き上げを要求されるリスク等があり、海外経済の先行き不透明感は強く残っており、下振れする可能性があります。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界は、世界的なスマートフォン需要の一服などから増勢が鈍化しており、中国景気の急激な減速により輸出が減少したことから、低調に推移しております。

このような状況の中、電子機器事業は全体的に低調に推移いたしました。また、繊維機器事業も低調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,501百万円（前年同四半期比16.9%減）、営業損失は363百万円（前年同四半期は営業利益20百万円）、経常損失は336百万円（前年同四半期は経常利益59百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は352百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器事業)

ディスプレイ製造機器では、スマートフォン・タブレット向けディスプレイ市場の頭打ち状態が続いており、各社とも中小型液晶パネルへの新規投資を控え、既存設備の改造により新たな製品形状へ対応する傾向にあります。また、有機EL市場においても製造コスト低減・歩留りアップの開発途上で、各社とも市場の液晶から有機ELへの移行動向を見ながら新規投資タイミングを見定めている状況の為、装置需要は低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器では、スマートフォン向け電子部品の需要頭打ちの影響で、前年同期に比べ装置需要は低調に推移したものの、車載関係・パワー半導体・ディスクリット向け量産装置は堅調であった為、半導体事業全体での装置需要は堅調に推移いたしました。

このような状況の中、好調であった前年同期に比べ販売額は減少いたしました。

新素材加工機器では、当社の注力市場であるパワーデバイス・LED関連市場において、各有力顧客の設備投資が一巡したこと、パワーデバイス生産用材料の生産における高コストがボトルネックとなっていることから市場の拡大が遅れている影響もあり、低調に推移いたしました。また、その他の市場におきましても、全体的に鈍化傾向にあり、低調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は減少いたしました。

その結果、売上高は3,240百万円（前年同四半期比18.7%減）、セグメント損失244百万円（前年同四半期はセグメント利益156百万円）となりました。

(繊維機器事業)

繊維機器事業では、炭素繊維裁断機市場の冷え込みは継続し、一般産業素材向け裁断機においても低調に推移いたしました。一方、アパレル業界では、自動化設備が必要とされる国内メーカーにおいては、政府ものづくり補助金が採択されたメーカーの更新・増設が行われ、一部好調なメーカーの海外設備の更新・増設がおこなわれた為、堅調に推移いたしました。

このような状況の中、販売額は微増となりました。

その結果、売上高は236百万円（前年同四半期比7.4%増）、セグメント損失37百万円（前年同四半期はセグメント損失55百万円）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業では、2018年3月20日に厚生労働省より製造販売承認を取得した「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」は、前期に引き続き、市販後臨床調査を行うと共に、学会での実機展示をおこないました。また、前期に引き続き、国内の医療機器メーカーに向けて、製造工程の自動化・省力化に資する医療機器製造装置の販売や、医療機器の試作機開発を受託・販売いたしました。

その結果、売上高は24百万円（前年同四半期比326.4%増）、セグメント損失80百万円（前年同四半期はセグメント損失80百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて269百万円減少し、8,415百万円(前連結会計年度末は8,685百万円)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて248百万円減少し、5,656百万円(前連結会計年度末は5,904百万円)となりました。これは、主にたな卸資産が574百万円の増加、現金及び預金が224百万円の減少、受取手形及び売掛金が745百万円の減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて21百万円減少し、2,759百万円(前連結会計年度末は2,780百万円)となりました。これは、主に有形固定資産が90百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて166百万円増加し、3,524百万円(前連結会計年度末は3,358百万円)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、3,136百万円(前連結会計年度末は3,230百万円)となりました。これは、主に短期借入金が500百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金が102百万円の増加、賞与引当金が127百万円の減少、電子記録債務が508百万円の減少、未払法人税等が53百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて260百万円増加し、387百万円(前連結会計年度末は127百万円)となりました。これは、主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて436百万円減少し、4,890百万円(前連結会計年度末は5,326百万円)となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失352百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年11月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,728,679	1,504,068
受取手形及び売掛金	2,782,153	2,036,525
電子記録債権	17,677	96,455
製品	98,534	112,335
仕掛品	872,044	1,321,658
原材料及び貯蔵品	372,141	483,427
その他	33,434	101,997
流動資産合計	5,904,663	5,656,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,300,117	1,225,377
土地	781,479	781,479
その他(純額)	168,265	152,788
有形固定資産合計	2,249,862	2,159,645
無形固定資産	52,672	70,430
投資その他の資産		
投資有価証券	127,913	108,514
繰延税金資産	234,724	224,484
その他	115,408	195,995
投資その他の資産合計	478,046	528,995
固定資産合計	2,780,582	2,759,071
資産合計	8,685,245	8,415,542

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	581,941	603,858
電子記録債務	1,360,347	851,780
短期借入金	600,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	89,988	192,522
未払法人税等	53,600	—
賞与引当金	189,836	62,362
その他	355,140	326,334
流動負債合計	3,230,854	3,136,857
固定負債		
長期借入金	65,044	331,269
資産除去債務	30,787	31,258
その他	31,797	25,403
固定負債合計	127,628	387,931
負債合計	3,358,483	3,524,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,998,938	2,581,184
自己株式	△17,342	△17,342
株主資本合計	5,297,147	4,879,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,572	14,613
為替換算調整勘定	3,043	△3,253
その他の包括利益累計額合計	29,615	11,359
純資産合計	5,326,762	4,890,753
負債純資産合計	8,685,245	8,415,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,212,137	3,501,147
売上原価	3,317,379	2,889,992
売上総利益	894,758	611,155
販売費及び一般管理費	873,914	974,712
営業利益又は営業損失(△)	20,843	△363,556
営業外収益		
受取利息	553	1,663
受取配当金	1,694	1,977
受取賃貸料	7,540	5,527
受取ロイヤリティー	9,211	10,244
売電収入	8,975	8,112
補助金収入	13,953	7,154
その他	7,837	6,902
営業外収益合計	49,767	41,582
営業外費用		
支払利息	829	1,615
減価償却費	5,413	4,787
持分法による投資損失	3,357	6,543
その他	1,507	1,504
営業外費用合計	11,107	14,452
経常利益又は経常損失(△)	59,503	△336,426
特別利益		
受取保険金	—	3,239
特別利益合計	—	3,239
特別損失		
災害による損失	—	3,321
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	3,321
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	59,503	△336,508
法人税、住民税及び事業税	9,430	1,882
法人税等調整額	7,853	13,838
法人税等合計	17,284	15,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,219	△352,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,219	△352,229

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,219	△352,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,655	△8,214
為替換算調整勘定	△2,870	△6,297
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△3,744
その他の包括利益合計	△5,567	△18,255
四半期包括利益	36,651	△370,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,651	△370,484
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	4,079,117	94.5	3,358,037	92.0	6,881,397	94.5
繊維機器事業	230,907	5.4	267,204	7.3	363,526	5.0
医療機器事業	5,719	0.1	24,390	0.7	38,418	0.5
合計	4,315,744	100.0	3,649,631	100.0	7,283,342	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	5,374,064	3,442,902	3,732,694	2,427,735	6,741,414	1,935,143
繊維機器事業	243,429	68,032	257,570	69,979	367,578	49,062
医療機器事業	33,939	28,220	28,895	4,840	38,753	335
合計	5,651,433	3,539,154	4,019,160	2,502,554	7,147,745	1,984,541

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	3,986,010	94.7	3,240,103	92.5	6,861,118	94.5
繊維機器事業	220,407	5.2	236,654	6.8	363,525	5.0
医療機器事業	5,719	0.1	24,390	0.7	38,418	0.5
合計	4,212,137	100.0	3,501,147	100.0	7,263,062	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主要な輸出先及び輸出版売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、()内は総販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)		前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	1,516,843	71.7	1,467,442	77.8	3,242,573	75.0
その他の地域	597,234	28.3	419,470	22.2	1,083,187	25.0
合計	2,114,078 (50.2%)	100.0	1,886,912 (53.9%)	100.0	4,325,761 (59.6%)	100.0